

学修概要

歯科受診者8割の主訴は、「感染症に伴う痛み」である。そこで先ず「感染とは何か」を学び、次に「感染の成立」が「宿主・寄生体力関係」と呼ばれる宿主と寄生体との相対的な力関係によることを学ぶ。更に「寄生体がつもつ病原因子・寄生体の示す病原性」および「宿主に備わる生体防御システム」を学び、最終的に「プラークコントロール」、「無菌化」および「院内感染症対策」の必要性を理解する。

- 教科書：最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学（医歯薬出版）
- 授業時間：前期；木曜日 15：00～15：50
後期；水曜日 11：00～11：50
- オフィスアワー：田中 一 火曜日 17：00～18：00 (tanaka.hajime@nihon-u.ac.jp)
今井 健一 火曜日 17：00～18：00 (imai.kenichi@nihon-u.ac.jp)
- 授業の方法：講義項目をスライドで説明し、まとめを適宜板書きで図解する。その後平常試験を行い、学生の理解度をチェックすると共に、答案用紙のアンケート欄に寄せられた意見・要望に対してフィードバックを行い、授業のスピードおよびレベルに反映させる。
- 準備学習・準備学習時間：授業で投影したスライドは精選し、「ハンドアウト」として配付する。また学生が理解すべき要点は命題化し、「理解度チェックシート」等「演習」として配付する。これらを用いて復習することにより、授業内容に良く馴染んでおくこと。具体的には、キーワードの認識と各命題の映像化とが望まれる。
- 成績評価：定期試験(30%/回：前・後期各1回：合計60%)と平常試験(10%/回：前・後期各2回：合計40%)とで評価する。
- 注意事項：平常試験を年4回実施し、試験範囲となった授業内容の理解度をチェックする。また平常試験における設問内容の理解度を、定期試験で再確認する。そこで、授業毎におけるキーワードベースの授業内容の把握および授業の流れの具体的な映像化が重要である。上述の「ハンドアウト」および「演習」を大いに活用されたい。
- 実務経験：田中 一：日本大学歯学部細菌学講座に在籍中で、う蝕および歯周病の成り立ちに、微生物学および免疫学に立脚したイメージが持てるよう、また歯科衛生士が臨床の現場で遭遇する感染症に対して、スタンダードプリコーションの理念に立脚した院内防護が行えるよう、歯科医師および生体防御学研究者の立場から、具体的な学びを提供したいと考えている。
今井健一：日本大学歯学部細菌学講座に在籍中で、歯科衛生

士が臨床の現場で遭遇するウイルス感染症に対して、ウイルスの特性に立脚した院内防護が行えるよう、歯科医師および生体防御学研究者の立場から、具体的な学びを提供したいと考えている。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1回 4月18日 田中 一	疾病と微生物 (教) pp. 1-7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症の原因として微生物と呼ばれる生物がどのような大きさや形をしていて、どこにしているかを理解する。 ・ 常在菌と外来菌という概念が存在することを知る。
第2回 4月25日 田中 一	感染と感染症 (教) pp. 7-12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染・感染症における感染経路・侵入門戸および感染症の経過・症状について理解する。 ・ 感染およびその発症における「宿主-寄生体相互作用」を理解する。
第3回 5月9日 田中 一	微生物の分類 (教) pp. 13-16	<ul style="list-style-type: none"> ・ 微生物（：一般細菌・マイコプラズマ・リケッチア・クラミジア・ウイルス）の分類と性状の違いとについて理解する。
第4回 5月16日 田中 一	細菌の命名法と形態・構造 (教) pp. 16-21	<ul style="list-style-type: none"> ・ 細菌の命名法を理解する。 ・ 細菌の形態・構造を理解する。
第5回 5月23日 田中 一	細菌の代謝・増殖・病原因子 (教) pp. 21-28	<ul style="list-style-type: none"> ・ 細菌の代謝・増殖・病原因子を理解する。
第6回 5月30日 田中 一	【平常試験1】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1-5回までの講義内容の理解度をチェックする。
第7回 6月6日 田中 一	宿主防御機構 (教) pp. 74-81	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生体防御機構の全体像を把握する。 ・ 自然免疫の働きを理解する。 ・ 獲得免疫の働きを理解する。
第8回 6月13日 田中 一	免疫機構 (教) pp. 82-91	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補体系を理解する。 ・ 食細胞系を理解する。 ・ キラー細胞系を理解する。
第9回 6月20日 田中 一	細胞性免疫 (教) pp. 92-103	<ul style="list-style-type: none"> ・ 細胞性免疫系を理解する。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第10回 6月27日 田中 一	体液性免疫 (教) pp. 92-103	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体液性免疫系を理解する。 ・ 抗原抗体反応を理解する。
第11回 7月4日 田中 一	アレルギーとワクチン (教) pp. 103-109	<ul style="list-style-type: none"> ・ アレルギーの I-IV 型を理解する。 ・ ワクチンの仕組みを理解する。
第12回 7月11日 田中 一	ウイルス 1 (教) pp. 48-69	<ul style="list-style-type: none"> ・ ウイルスの一般性状を理解する。 ・ ウイルス感染症の種類を知り相違点を把握する。 ・ 肝炎ウイルスおよび主な肝炎を理解する。
第13回 7月18日 田中 一	ウイルス 2 (教) pp. 48-69	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヘルペスウイルス・ピコルナウイルス・パラミクソウイルス・風疹ウイルス・インフルエンザウイルス・レトロウイルスの性状および感染症を理解する。
第14回 7月25日 田中 一	【平常試験 2】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第7-13回講義の理解度をチェックする。
第15回 8月29日 田中 一	前期講義のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前期講義の重要ポイントを整理し、前期試験・国家試験に備える。
第16回 10月2日 田中 一	主な病原性細菌 (グラム陽性菌 1) (教) pp. 28-36	<ul style="list-style-type: none"> ・ グラム陽性菌の細胞を例にとりながら、前期に学んだ内容を振り返る。
第17回 10月9日 田中 一	主な病原性細菌 (グラム陽性菌 2) (教) pp. 28-36	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヒトに病原性を示す主なグラム陽性菌の種類およびそれらが引き起こす感染症を知る。
第18回 10月16日 田中 一	主な病原性細菌 (グラム陰性菌) (教) pp. 36-43	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヒトに病原性を示すグラム陰性菌の種類およびそれらが引き起こす感染症を知る。
第19回 10月23日 田中 一	マイコプラズマ・リッケチア・クラミジア・真菌・原虫 (教) pp. 43-47 pp. 70-73	<ul style="list-style-type: none"> ・ マイコプラズマ・リッケチア・クラミジア・真菌・原虫の特徴を理解し、それらの引き起こす感染症を知る。 ・ 細胞内寄生性を理解する。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第20回 10月30日 田中 一	口腔細菌叢とプラーク (教) pp.110-122	<ul style="list-style-type: none"> 口腔常在菌叢の成り立ちを理解する。 プラークの成り立ちおよび特徴を理解する。
第21回 11月6日 田中 一	齲蝕1 (教) pp.123-130	<ul style="list-style-type: none"> う蝕原性細菌を理解する。
第22回 11月13日 田中 一	齲蝕2 歯内感染症 (教) pp.123-130	<ul style="list-style-type: none"> う蝕の成立機序を理解する。 歯内感染症の成立機序を理解する。
第23回 11月20日 田中 一	【平常試験3】	<ul style="list-style-type: none"> 第16-22回講義の理解度をチェックする。
第24回 11月27日 田中 一	歯周病1 (教) pp.130-137	<ul style="list-style-type: none"> 歯周病の成立機序と分類を理解する。
第25回 12月4日 田中 一	歯周病2 (教) pp.130-137	<ul style="list-style-type: none"> 歯周病は何種類かの微生物による感染つまり混合感染であることを知り、主な歯周病原菌を理解する。
第26回 12月11日 今井 健一	歯科医療で遭遇するウイルス感染症 (教) pp.62-69	<ul style="list-style-type: none"> インフルエンザの病原体および感染経路を知る。 エイズや成人T細胞白血病の病原体および感染経路を知る。 B型肝炎およびC型肝炎の病原体および感染経路を知る。
第27回 12月18日 田中 一	化学療法と菌交代症 (教) pp.144-154	<ul style="list-style-type: none"> 化学療法とはどのような治療法かを理解する。 化学療法薬の種類およびその作用を知る。 薬剤耐性を理解する。 副作用を知る。 化学療法に付随して菌交代現象および菌交代症が発生する可能性を知る。
第28回 1月8日 田中 一	院内感染症対策 (教) pp.155-166	<ul style="list-style-type: none"> 滅菌と消毒の定義を理解する。 滅菌・消毒の方法の概要を知る。 歯科で常用される滅菌法を学ぶ。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科臨床における院内感染対策に関するイメージを構築する。 ・ 口腔カンジダ症を知る。 ・ 誤嚥性肺炎を理解する。 ・ 病巣感染を理解する。
第 29 回 1 月 15 日 田中 一	【平常試験 4】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 24-28 回講義の理解度をチェックする。
第 30 回 1 月 22 日 田中 一	講義のまとめ 1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後期講義の重要ポイントを整理し、後期試験に備える。 ・ 前期講義の重要ポイントも整理し、国家試験にも備える。